

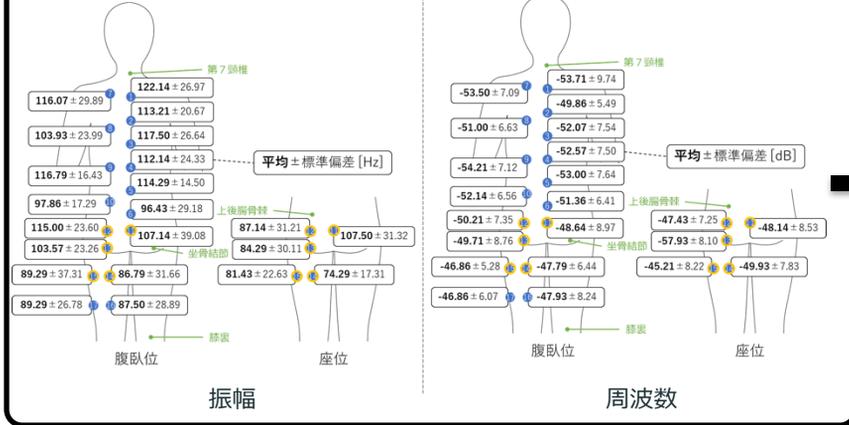
振動感覚感度を考慮したシート振動による 効率の良い情報提示法の提案

研究の概要と特徴

本研究は、前年度の研究で得た、身体背面側の感度分布を基に、振動刺激を与えることで、効率よくドライバーを覚醒することを目的とした研究である。

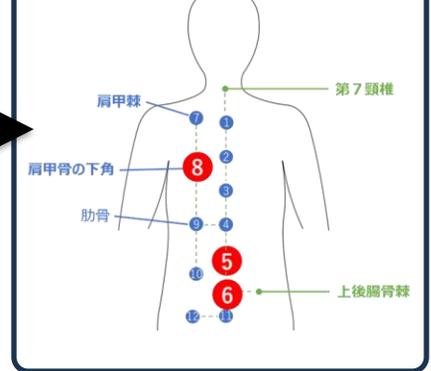
研究の内容

身体背面側の感度分布

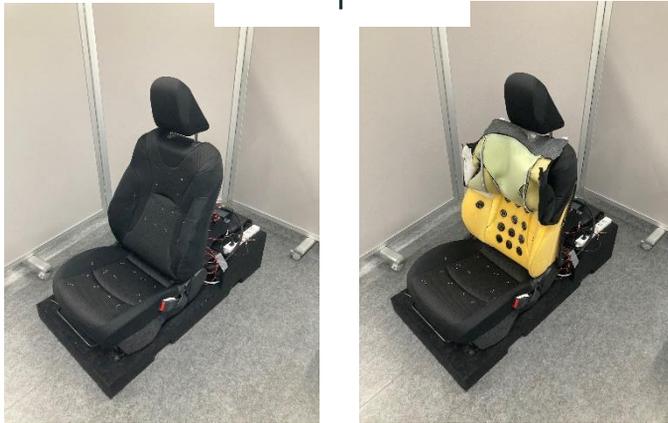


刺激部位の決

- ・シートへの接触のしやすさ
- ・ドライバーの快適性



振動子入りシート



実験

- ・覚醒させやすい振動を導く実験
- ・効果検証



研究の効果並びに優位性

音による情報提示と比べ、シート振動による情報提示は、乗客に伝わらなく、ドライバーのみに情報提示が出来るメリットがある。そのため、本研究をはじめ、シート振動による情報提示法に関する研究は、有意義である。また、低覚醒時は、物理刺激が有効である。

技術応用分野・企業との連携要望

自動車シート警報システム、本研究は産総研-住友理工連携研究室との共同研究である。